

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	23	B	78	C	4	D	0	II	/	
		A	15	B	53	C	3	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
		A	4	B	22	C	1	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	4	B	3	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。												
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	8	B	69	C	4	D	0	II	/	
		A	4	B	46	C	3	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
		A	3	B	21	C	1	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
		A	1	B	2	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。												
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	A	4	B	14	C	2	D	0	II	【会津大学】 高校訪問、オープンキャンパス、進学説明会等を実施し、一般入試の志願倍率が6.3倍となり、年度計画を上回ったことは評価できる。入学者に対する女子学生の割合が年度計画を達成できなかったことについて、目標設定の必要性及び妥当性について検討が必要。	
		A	1	B	11	C	2	D	0			
		(会津大学) 大学が求める入学者確保のため、入学者受入方針の周知、積極的な高校訪問、大学院の留学生確保などの取組を実施し、一般入試の志願倍率は目標値を上回った。しかしながら、高等専門学校向けの学校訪問が十分に行えず、また、入学者に対する女子学生の割合が22.7%であったものの、一般入試では5.1%にとどまり、一般入試から2名が辞退したため全体では10%を割り込むこととなった。										
		A	3	B	3	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 大学が求める入学者確保のため、入学者受入方針の周知、積極的な高校訪問、入学生アンケートを踏まえた広報改善などの取組を実施し、一般入試の志願倍率は2.0倍の目標に対して3.1倍となった。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
(四大・短大共通)												
(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	31	C	1	D	0	II	【会津大学】 TOEIC到達目標を達成したことは評価できる。 【会津短期大学部】 免許・資格取得希望者の取得率が概ね目標を達成したことは評価できる。免許資格関連職への就職率について、指標の妥当性や必要性について検討および改善が必要。	
		A	2	B	23	C	0	D	0			
		(会津大学) 大学が目指す人物像を理解してもらうため学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証、シラバスの英語化、英語での卒業論文と発表等を実施した。学部1年生のTOEIC到達度、ベンチャー・起業家精神や社会と地域の課題解決をテーマにした企業主催のコンテスト等の積極的な誘致活動、インターンシッププログラム及び英語による授業科目数などは目標を上回る実績となった。										
		A	0	B	8	C	1	D	0			
		(会津大学短期大学部) 大学が目指す人材像を理解してもらうため学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などを実施した。各学科の免許・資格取得希望者の取得率、幼児教育学科の免許資格関連職への就職率は目標値をほぼ達成した。食物栄養学科の免許資格関連職への就職率は資格とは別の業種への就職を希望する学生が多かったことで目標値を下回る実績となったものの、同学科の就職希望者の就職率は95%であった。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
(四大・短大共通)												

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	10	C	0	D	0	I	【会津大学】 国際公募により優秀な教員の採用を継続して行い、外国人及び国外の大学で学位を取得した専任教員等の割合が目標を達成したことは評価できる。また、女性教員を新たに採用し、年度計画を達成したことは評価できる。 【会津短期大学部】 次世代ICT活用教育に向けて、調査および実現可能性について検討し、クラウドストレージ等を実施したことは評価できる。
		A	0	B	5	C	0	D	0		
		(会津大学) 学内ネットワークシステムの環境整備、教員研修、教員国際公募などを実施した。									
		A	0	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 学内ネットワークシステムの環境整備、実習機器の更新整備などを実施した。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	1	B	14	C	1	D	0	II	【会津大学】 成績不振学生の発生を抑えるため、対策に努めたが、成績不振学生100名以下にするという目標に対して、130名以上になってしまった。これについては、成績不振になってしまう原因及び対策について検討が必要。 【会津短期大学部】 学生寮の生活環境の改善を目的として、寮生への直接の聞き取り等を行った上で、各種工事を実施したことは評価できる。また、学生支援のため、相談窓口の新設、編入希望者向けの短期学内講座やTOEIC短期学内講座を企画・実施を行ったことは評価できる。
		A	1	B	7	C	1	D	0		
		(会津大学)学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援などを実施した。学生への経済的支援では、授業料減免等の支援を強化し、会津大学学生生活支援会からの寄附金を活用して食堂等で使用できるプリペイドカード支給などを行った。成績不振学生の減少については、教員、修学支援員、カウンセラーが面接等を行って学生を支援したが、成績不振判定基準の変更等により100名以下とする目標は達成できなかった。									
		A	0	B	7	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 学生支援に関する方針の検討、就職支援、一箕寮の運営改善などを実施した。一箕寮では厨房改修工事等、施設・設備改修を実施したほか、学生への経済的支援のため、授業料免除や会津大学学生生活支援会からの寄附金を活用してプリペイドカード支給などを行った。									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	12	B	7	C	0	D	0	I	/
		A	8	B	5	C	0	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	3	B	1	C	0	D	0		
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	10	B	6	C	0	D	0	I	【会津大学】 主要学術論文採択数、学術論文引用件数、科研費新規採択率、特許出願件数は、目標値を上回った他、先端情報科学研究センターの宇宙情報科学クラスターが文部科学省の「共同利用・共同研究拠点」の認定を受け、宇宙情報科学研究センターとして分離独立し、全国の研究者と共同研究等を行った。 【会津短期大学部】 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果を公表するなどに取り組んだ。公表活動数は目標値を上回る実績となった。 【会津短期大学部】 研究活動実績が目標を上回る129件となったことは評価できる。
		A	8	B	5	C	0	D	0		
		(会津大学)研究科、学部各部門、各センターにおいて研究に取り組み、予定した成果を上げることができた。論文被引用件数、外部資金獲得、科研費新規採択率は目標値を上回ったほか、CAISTの宇宙情報科学クラスターが文部科学省の「共同利用・共同研究拠点」の認定を受け、宇宙情報科学研究センターとして分離独立し、全国の研究者と共同研究等を行った。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果を公表するなどに取り組んだ。公表活動数は目標値を上回る実績となった。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(2)	研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	1	C	0	D	0	I 【共通】 グローバルIPを使わずにネット接続できる環境を研究室の各実験室でも利用できるように整備したこと、電子申請システムを導入したこと、教室・及び教員用端末のOSを全台最新に更新したことは評価できる。 長寿命化計画の策定に着手し、短期大学の長寿命化計画を策定したことは評価できる。	
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
3	国際化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	1	C	0	D	0	I 【会津大学】 新たにプログラムを追加するなど、インターンシッププログラムの質を向上したことは評価できる。 スーパーグローバル大学事業の自走化のため、国内外の企業等から協賛金を2件獲得できた他、インターンシッププログラムの実施体制の転換を図るためのモデルケースを実施したことは評価できる。 優秀な外国人留学生を協定大学から獲得することに努めたことにより、外国人留学生の割合が全体の9.5%となり、目標を上回ったことは評価できる。	
		A	3	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。スーパーグローバル大学創生支援事業を活用した学生のインターンシップ事業では、現地企業にて開発を体験するプログラムを追加するなど、プログラムの質を向上させて実施した。									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部)											
(四大・短大共通)											
全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。											

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
第2	地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	10	B	17	C	0	D	0	I	/	
		A	6	B	15	C	0	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	4	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた												
1	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	7	B	8	C	0	D	0	I	【会津大学】 パソコン甲子園開催を通じた人材育成の取り組みが評価され、(公社)日本工学教育協会の第23回工学教育賞表彰において、文部科学大臣賞を受賞したことは評価できる。 各地方自治体へAOI会議を通じて助言等の支援を行ったことは評価できる。 公開講座を49件実施したことは評価できる。 【会津短期大学部】 シーズ集の配布、地域との連携・協働を行ったこと、学生参画型実学・実践教育を36件実施したこと、派遣講座を204件実施したことは評価できる。	
		A	4	B	7	C	0	D	0			
		(会津大学)一般市民向けの公開講座、パソコン甲子園等の開催、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組などを実施した。県立医大との共同研究の実施、会津若松市のICTオフィス(AIoT)に対するICTの知見を生かした協力・支援、ロボットテストフィールドに開所した会津大学ロボットテストフィールド研究センターを活用した人材育成など、多くの取組が計画を上回った。										
		A	3	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などに取り組んだ。派遣講座は年度計画を上回る実績となった。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 外部利用が可能な施設の利用拡大等に取り組んだ。施設の利用は目標を達成したものの新型コロナウイルス感染症対策により2月末から外部貸出を停止した影響で使用料収入が減少した。												
2	地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	A	1	B	3	C	0	D	0	II	【会津大学】 女性プログラマ育成塾事業で、女性への就労支援を行い、51名の就労を達成したことは評価できる。 新たに2社の企業を大学発ベンチャー企業として認定し、大学発ベンチャー認定企業と連携した研究活動を実施したことは評価できる。 AOI会議を通じて、県内企業との共同研究10件、地方公共団体からの受託研究2件を実施したことは評価できる。	
		A	1	B	3	C	0	D	0			
		(会津大学) 「女性プログラマ育成塾」の運営を通じた県内就労支援、大学発ベンチャー認定企業への支援などを実施した。県内企業からの技術相談や意見交換を行う場としてAOI会議を県内で幅広く開催し、年間で236件実施した。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部)										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
(四大・短大共通)												
3	復興支援に関する目標を達成するための措置	A	2	B	6	C	0	D	0	II	【会津大学】 AOI会議を年間340回開催し、目標を上回ったことは評価できる。共同研究での大口案件獲得により、先端ICTラボクラウドの利用率70%を超えたことは評価できる。 ICT人材育成として、南相馬市の高校生等を対象とした研修会や講習会を13回実施したことは評価できる。 【会津短期大学部】 大熊町立小・中学校に対して、各種支援をしたことは評価できる。 復興支援に関する地域連携事業を12件実施して、目標を上回ったことは評価できる。	
		A	1	B	5	C	0	D	0			
		(会津大学)AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した先端ICTラボの活用などに取り組んだ。先端ICTラボのクラウド利用率は目標値の8割未満だったものの、AOI会議の開催回数は目標値を上回る実績となった。また、イノベーションコースト構想の実現に不可欠なロボットに関する人材育成を行った。										
		A	1	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 大熊町立大熊中学校の支援、復興支援に関する地域と連携した活動を実施した。被災市町村及び帰還住民を対象とした派遣講座等に取り組み、目標5件に対し、12件の活動を実施した。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
(四大・短大共通)												

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	7	B	28	C	3	D	0	II	/
		A	3	B	1	C	1	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。									
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	2	D	0	II	/
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	1	D	0	II	【共通】 目標であった組織運営方針の策定まではできなかったことは検討課題となる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	0	B	1	C	1	D	0	II	【共通】 会議資料を事前配布し、説明時間の短縮に取り組んだほか、ipadを使用してペーパーレス化に取り組んだことは評価できる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(四大・短大共通) 教職員の行動規範の周知徹底、法人の採用方針に基づいた職員採用などに取り組んだ。組織運営方針の策定を計画していたが、資料収集や検討するに留まった。											
(四大・短大共通) ペーパーレス会議の継続に取り組んだ。コピー用紙購入量は新型コロナウイルス対策のため、リモート授業や対策会議の資料作成、学生への感染予防のチラシやポスター等の作成などにより、前年比6%増となり目標を達成できなかった。											

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価				
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項			
2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	A	3	B	4	C	0	D	0	I	/		
		A	2	B	0	C	0	D	0				
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。											
		A	0	B	1	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。											
(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	2	B	2	C	0	D	0	I	【会津大学】 先端ICTラボや産業イノベーションセンター等の利用促進を図ることで、年間使用料収入が目標を上回ったことは評価できる。 また、会津大学学生生活支援寄附金の募集を開始して学生への経済的支援を実施した他、会津若松市や民間企業等から7件、合計2,613万円の奨学寄附金を受け入れることができたのは評価できる。 【会津短期大学部】 紅翔奨学金の活用方法や税制上の優遇措置について、Webサイト等で広報し、寄附金の積極的な募集を行った結果、前年度を上回る寄附金が集まったことは評価できる。		
		A	2	B	0	C	0	D	0				
		(会津大学) UBIC・先端ICTラボの施設使用料収入は目標を上回った。「会津大学学生生活支援基金」を設置し、寄附金の募集を開始するなど計画を上回る実績となった。											
		A	0	B	1	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 紅翔奨学金の活用や税制上の優遇措置について周知したほか、学生支援のための寄附金確保に取り組んだ。											
(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	A	1	B	2	C	0	D	0	I	【共通】 改元や消費税の制度改正に関するシステム改修を計画どおり実施するとともに、事務処理効率化を主眼とした財務会計システム更新計画を策定した。また、計画のうち、会計事務処理工程の改善に対応するためのシステム改修を実施したことは評価できる。		
		A	0	B	0	C	0	D	0				
		(会津大学)											
		A	0	B	0	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部)											
(四大・短大共通) 法人会計制度の研修、財務状況分析などを実施した。「財務会計システム更新計画」を策定し、システムの更新に先駆け、会計事務処理工程の改善に対応するためのシステム改修を実施するなど計画を上回って実施した。													

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	/
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(1)	評価の充実に係る目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	I	【共通】 数値目標の中間進行管理を実施し、10月に進捗状況を共有し、下半期の取組みに生かしたことは評価できる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(2)	情報発信の推進に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	【共通】 大学・短大の認知度の向上のため、はやぶさ2プロジェクトへの参加、ICPC国際大学対抗プログラミングコンテストの世界大会出場等の研究活動、表彰実績、産学連携、地域貢献等について積極的に情報発信したことは評価できる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 適切な情報公開、大学の幅広い活動の情報発信を実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
4	その他業務運営に関する目標を達成するための措置	A	4	B	9	C	1	D	0	II	/
		A	1	B	1	C	1	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	A	1	B	1	C	0	D	0	II	【共通】 コンプライアンスの徹底を図るため、各種研修を開催し、職員へ行動規範の周知に組み込み、特に研究者を対象とする研修においては、参加率の向上のため、e-learning研修を実施した。また、研究倫理に関するチェックシートの見直しや相談体制整備のための見直しを行ったことは評価できる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		(会津大学短期大学部)									
		(四大・短大共通) 教職員のコンプライアンス遵守を確保する取組などを実施した。									
(2)	施設設備や情報通信基盤の整備活用等に関する目標を達成するための措置	A	3	B	3	C	0	D	0	I	【会津大学】 年度計画を上回って施設・整備の修繕・維持管理を実施した他、長寿命化計画の策定に着手し、短大の長寿命化計画を策定したことは評価できる。 【会津短期大学部】 会津大学短期大学部附属図書館除籍要領を策定し、長期的な計画に基づく除籍を開始したことは評価できる。
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 学内ネットワークシステムの24時間365日体制の監視などを実施した。2020年度の学務システム更新に向けて検討・構築を計画どおり実施した。									
		(会津大学短期大学部) 新たな学務システムやコンピュータネットワークシステムの導入、教職員の情報セキュリティ意識向上に取り組んだ。図書館改修委員会を立ち上げ、図書館のあるべき姿を検討する等、計画を上回って実施した。									
		(四大・短大共通) 四大・短大の経年劣化が進む施設の改修、短大の長寿命化計画を策定し計画どおり実施した。									
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	1	D	0	II	【会津大学】 教職員の健康診断受診率が92.5%、学生の受診率が90.7%と9割を超えたが、教職員の再検査受診率が45.9%に止まったため、改善が必要である。 【会津短期大学部】 教職員の健康診断受診率が100%、学生の受診率が98.4%になったことは評価できる。
		A	0	B	0	C	1	D	0		
		(会津大学) 教職員の健康診断受診率は概ね目標値どおりであったが、要精検該当者の再検査受診率は目標100%に対し45.9%と目標を下回った。									
		(会津大学短期大学部) 教職員の健康診断受診率を高める取組を計画どおり実施した。									
		(四大・短大共通) 教職員のメンタルヘルスチェック、メンタルヘルスセミナーの実施、防災・防犯確保などの取組を計画どおり実施した。									